

# 水質調査結果から

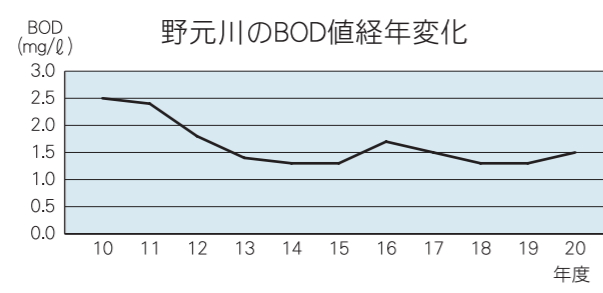
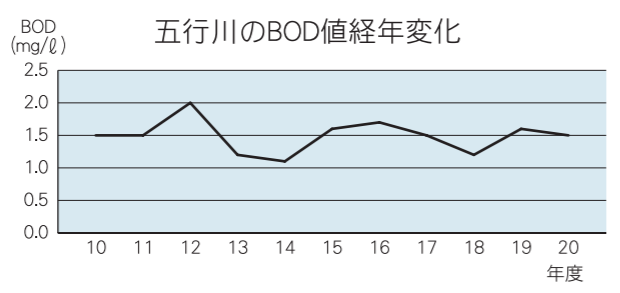
五行川、野元川、大川の3河川12カ所で環境項目(生活環境の保全に関する環境基準)および健康項目(人の健康の保護に関する環境基準)について調査を行い、水質の監視をしています。環境項目では、BOD値を見ると五行川は8年連続、野元川で9年、大川でも7年続けて基準値をクリアしています。大腸菌群数については基準値を上回ることが多くなっていますが、河川水を直接飲用としない限り、日常生活への影響はほとんどありません。また、健康項目はすべて基準値以内で、有害物質は検出されませんでした。

河川名	PH		BOD		S S		DO		大腸菌群数		計	
	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%	適合数/調査数	%
五行川	18/18	100	18/18	100	18/18	100	18/18	100	0/18	0.0	72/90	80.0
野元川	18/18	100	18/18	100	18/18	100	18/18	100	3/18	33.3	75/90	83.0
大川	12/12	100	11/12	92.0	11/12	92.0	12/12	100	0/12	0.0	46/60	77.0
計	48/48	100	47/48	98.0	47/48	98.0	48/48	100	3/48	6.3	193/240	80.4
前年度	47/48	97.9	47/48	97.9	48/48	100	47/48	97.9	2/48	4.2	191/240	79.6

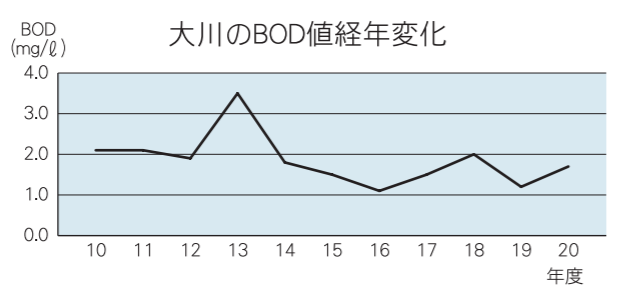


▲五行川奈賀橋

野元川では、風熊橋、宮田下橋、杭の内橋、監物橋、末流管橋の5カ所で調査を実施しました。BOD値の適合率は100%でしたが、大腸菌群数については33.3%の適合率にとどまりました。



▲大川西原橋



五行川では、一切行橋、五行橋、奈賀橋、五行橋、若橋の5カ所で調査を実施しました。BOD値についてはすべてのポイントで基準値(2.0 mg/L)以内、大腸菌群数については適合率0%という結果でした。



▲野元川杭の内橋

大川では小貝橋と西原橋の2カ所で、6回調査を実施しました。BOD値が6回中1回、基準値を超えました。また、大腸菌群数は、すべての調査で不適合になりました。

## BOD値で見る河川の様子



**<BOD値とは>**  
 生物化学的酸素要求量。水中の汚れ(有機性汚濁物質)が微生物によって分解される時に必要な酸素の量で、この数値が大きいほど川は汚れていることになります。  
 町内の3河川は環境基準のA類型に該当し、基準値は2 mg/L以下です。  
 ※唐桶溜は、湖沼専用のCOD検査をしています。この数値の大きさも湖沼の汚れ具合を示します。



▲五行川(天神延生橋からロマンの湯)

## 水質保全に対する取り組み

(国・県・町の取り組み)

国には、水質保全の基本的な枠組みを定めた水質汚濁防止法があり、県にも生活環境保全条例があります。これらの法や条例により、公共用水域のすべてを対象として、工場などからの排水規制、地下水汚染の未然防止、生活排水対策などが規定されています。

町では、法や条例に基づき、公共用水域に流入する汚濁量を削減するため、産業系、生活系など発生源別の対策として計画的な水質調査と環境保全に取り組んでいます。

**〈生活排水対策の推進〉**  
 炊事、洗濯、入浴など、人の日常生活に伴い排出される生活排水は、公共用水域の水質の汚濁の大きな原因の一つとなっています。国・県・町で総合的対策の推進を図っています。

国民、県民、町民の責務は、何人も公共用水域の水

環境対策課環境対策係  
 028(67)6041